

第76回国民体育大会 三重県準備委員会

第8回 広報・県民運動専門委員会



とこまる

三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

平成 30 年 7 月 3 日 (火)

JA三重健保会館3階 大研修室

第76回国民体育大会三重県準備委員会

第8回 広報・県民運動専門委員会 次第

期日：平成30年7月3日（火）

時間：10：00～11：00

会場：JA三重健保会館3階 大研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 広報・県民運動専門委員会委員の変更
- (2) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過
- (3) 三重とこわか国体イメージソング及びダンスの完成と活用状況
- (4) 三重とこわか国体 広報活動の状況と今後の取組

4 審議事項

- (1) 県民運動の名称及び取組内容（案）
- (2) 三重とこわか国体イメージソングのダンスの名称（案）

5 その他

今後の国体開催準備スケジュール

6 閉 会

第76回国民体育大会三重県準備委員会 広報・県民運動専門委員会委員の変更

第7回広報・県民運動専門委員会（平成29年7月11日）以降における委員の変更について、第76回国民体育大会三重県準備委員会会則第13条第4項の規定により報告します。

（敬称略）

選出区分	所属機関・団体・役職名	旧	新
市町関係	三重県市長会 事務局長	伊藤 直樹	村林 謹一
文化・社会 団体等関係	三重県ボランティア連絡協議会 副会長	萩野 茂樹	赤尾 勉
県（行政）関係	雇用経済部 観光局 観光誘客課長	瀧口 嘉之	—
	雇用経済部 観光局 観光魅力創造課長	—	小見山 幸弘

第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過
(第7回広報・県民運動専門委員会以降)

年度	月	日	開催準備	主な内容
平成 29 年度	7	11	第7回広報・県民運動専門委員会の開催	「イメージソング最優秀賞候補について」(案)について審議しました。
	7	31	第10回常任委員会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第二次選定」、「募金・企業協賛基本方針」、「イメージソングの選定」について審議し、決定しました。
	7	31	第6回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	1	31	第10回市町連絡調整会議の開催	「広報・県民運動の取組状況」、「福井しあわせ元気国体の開催日程」等について説明しました。
	2	13	第2回警備・消防専門委員会の開催	「警備・消防防災基本計画」(案)について審議しました。
	2	14	第2回医事・衛生専門委員会の開催	「防疫対策要項」、「食品衛生対策要項」、「環境衛生対策要項」について審議し、決定しました。
	2	15	第10回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第七次選定候補」(案)、「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第三次選定候補」(案)、「会場地市町における開催予定施設の変更について」(案)、「競技別リハーサル大会開催基準要項」(案)について審議しました。
	2	16	第2回宿泊専門委員会の開催	「宿泊施設充足対策要項」について審議し、決定しました。
	2	27	第1回式典専門委員会の開催	「式典基本方針」(案)について審議しました。
	2	27	第3回輸送・交通専門委員会の開催	輸送・交通業務における課題について意見交換しました。
	3	2	第2回施設専門委員会の開催	「競技施設基準の改定」について審議し、決定しました。
	3	19	第11回常任委員会の開催	「会場地市町第七次選定」、「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第三次選定」、「会場地市町における開催予定施設の変更について」、「式典基本方針」、「警備・消防防災基本計画」等について審議し、決定しました。
平成 30 年度	5	9	第11回市町連絡調整会議及び第9回競技団体連絡調整会議の開催	「広報・県民運動の取組」、「競技別リハーサル大会開催意向調査」、「大会旗・炬火イベント意向調査」、「大会競技会場バリアフリー調査」、「配宿方式意向調査」、「競技会場輸送調査(第一次)」等について説明しました。
	5	21 22	日本スポーツ協会等による総合視察の実施	会場地及び競技施設の準備状況等について、日本スポーツ協会、スポーツ庁、日本アンチ・ドーピング機構による総合視察が実施されました。
	6	25	第1回馬事衛生専門委員会の開催	「馬事衛生基本方針」(案)について審議しました。
	6	27	第11回総務企画専門委員会の開催	「開催準備総合計画の改正について」(案)、「競技別会期」(案)について審議しました。

三重とこわか国体イメージソング及びダンスの完成と活用状況

1 経緯

イメージソングについては、第7回広報・県民運動専門委員会での最優秀賞候補案の審議後に、第10回常任委員会（平成29年7月31日開催）での審議を経て、京都府在住の奥野和憲さんが作詞・作曲した「未来に響け」に決定しました。

その後、編曲やダンスの振付、CD及びダンス動画のDVD制作、合唱や吹奏楽用の楽譜作成を行い、平成30年3月17日に発表しました。

また、制作したCD・DVDは学校等に配布し、校内放送や各行事のBGM、運動会等で行うダンスに活用していただけるようにしています。

2 イメージソングの概要

- (1) 作詞・作曲者 奥野 和憲 さん 京都府在住
- (2) 歌唱者 野田 愛実 さん 松阪市出身のシンガーソングライター
- (3) 編曲者 牧戸 太郎 さん 松阪市出身の作曲家、編曲家
- (4) 編曲の種類

野田愛実さんが歌唱するノーマルバージョン、ダンスバージョンのほか、さまざまなイベントで活用できるように吹奏楽、合唱、BGMにアレンジしたバージョンも制作しています。

3 ダンスの概要

- (1) 振付者 後藤 洋子 さん 三重大学教育学部教授
- (2) ダンスの種類

幅広い県民の方に踊っていただけるように、小学校高学年やダンスの経験者が取り組むことができるスタンダードバージョンのほかに、小学校低学年やダンス未経験者も気軽に取り組むことができるイージーバージョンを制作しています。

4 イメージソング・ダンスの活用事例

- (1) 「とこわかスポチャレSUZUKA～2021へ！未来に響け～」での初披露

平成30年3月17日（土）に、イオンモール鈴鹿で「とこわかスポチャレSUZUKA～2021へ！未来に響け～」を開催し、イメージソング「未来に響け」と、ダンスを初披露しました。



野田さんによるイメージソングの披露



鈴鹿高校によるダンスの披露

(2) 宮前小・宮前地区運動会（松阪市）で小学生によるダンスの披露

平成30年6月2日（土）に、松阪市立宮前小学校の5・6年生がダンスを披露し、その後、全校児童と地域の方も参加し、とこまると一緒に踊りました。



5・6年生によるダンスの披露



全校児童と地域の方もとこまるとダンス

(3) 白子高校吹奏楽部プレサマーコンサート

平成30年6月9日（土）に、吹奏楽部員が演奏とともに歌い、とこまると一緒にダンスを踊りました。



演奏する部員の皆さん



とこまると一緒にダンスを披露

5 イメージソングやダンスの普及に向けて

イメージソングやダンスの音源・動画、楽譜は、県のホームページで視聴及びダウンロードができ、どなたでも自由に使っていただけるようにしています。

三重県のホームページ



イメージソングの紹介ページ



[歌唱者コメント入り動画はコチラ](#)

ダンスの紹介ページ



[レッスン用スタンダードバージョン映像はコチラ](#)

[ダウンロードはコチラ](#)

- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会イメージソング「未来に響け」が完成しました！
- ▶ 三重とこわか国体・三重とこわか大会のダンスが完成しました！

クリックすると視聴
ができるページへ
移動します。

三重とこわか国体 広報活動の状況と今後の取組

三重とこわか国体の開催機運を醸成するため、マスコットキャラクター「とこまる」を活用し、広報ボランティアとともに県内各地のさまざまなイベントで広報を行っています。また、市町や競技団体においても、広報アイテムを活用し、積極的に広報活動を行っています。

本年7月18日には、（公財）日本スポーツ協会において第76回国民体育大会の三重県での開催及び会期が正式に決定されます。このため、県民の皆さんが三重とこわか国体にさまざまな形で参加いただけるよう、今後、より一層県内全域での広報に取り組みます。

1 平成29年度の広報活動の結果

（１）広報活動の結果

市町等と連携し、県内18市町のイベントで広報を行ったほか、県庁見学に訪れた43校の小学生等（合計2,150人）に三重とこわか国体の概要を説明するなど、さまざまな機会をとらえて広報を行いました。

市町のイベントにおいては、スポーツを体感できるアイテムを活用してスポーツに親しみを持っていただくとともに、各市町で開催される競技への理解が深まるようにしました。

また、県庁見学では、三重とこわか国体の概要説明のほかに、走幅跳の記録を表示したマットや走高跳の高さを分かりやすく表示したのぼりを用いて、世界記録等の凄さにも触れ、三重とこわか国体やスポーツへの関心がより高まるようにしました。



競技用具等を使用し、スポーツを体感

スポーツの凄さを県庁見学で説明

（２）広報ボランティアの活動状況

広報イベントでの缶バッジの作成や、県庁見学における三重とこわか国体についての分かりやすい説明、広報用の卓上POPの地域での配布など、三重とこわか国体を「支える」といった面で、積極的に活動していただきました。

【活動実績（平成29年度末時点の登録人数123人）】

- イベントでの広報 延べ107人
- 県庁見学での説明 延べ27人
- 卓上POPの配布 延べ95人



広報イベントでの缶バッジ作成



県庁見学での説明



店舗等への
卓上POPの設置

(3) 広報アイテムの活用状況

平成 29 年度から、三重とこわか国体の実施競技やスポーツを体感できるアイテム、マスコットキャラクターの「とこまる」を活用した着ぐるみやのぼり等のアイテムを市町等に貸し出しています。

市町では、物産展や産業祭等において、住民の方が各市町内で実施する競技に理解を深めていただけるように、野球やアーチェリーなどの体感アイテムを活用した広報を行っていただいています。

①貸出実績

36 イベント 延べ91 アイテム

②マスコットキャラクター「とこまる」の活用

三重とこわか国体のマスコットキャラクター「とこまる」は、子ども達を中心にイベント等で注目を集めており、とこまる自身が三重とこわか国体の実施競技を体験する姿を披露することで、県民の皆さんに競技を分かりやすく伝えています。

また、市町やスポーツチーム等のマスコットキャラクターとも一緒に活動し、三重とこわか国体の広報効果を高めています。



子ども達に囲まれるとこまる



SSピンポンの競技を行うとこまる



こにゅうどうくんと一緒に広報

2 平成 30 年度の主な取組

引き続き、市町と連携したイベントや県庁見学等さまざまな機会を活用し、広報に取り組みます。また、7月の開催及び会期決定を受けて、県民の皆さんが三重とこわか国体の開催をより身近に感じていただけるように、会期を前面に出した広報を行うとともに、特に次の点に重点的に取り組みます。

(1) イメージソング・ダンスを活用した広報（全 40 回）

県内全市町の学校等に日本ストリートダンス協会（JSDA）の公認インストラクターによるダンスキャラバンを派遣し、幼稚園や小学校を中心に楽しくダンスに取り組んでいただくきっかけをつくり、運動会等での披露に繋げていきます。

また、教職員向けの研修会においてもダンスキャラバンを派遣し、より多くの学校でダンスに取り組んでいただけるようにしていきます。

(2) 県内全市町や県内スポーツチームとコラボした広報活動

県内全市町や県内のスポーツチームと協働して、ほぼ毎週末、地域の祭りやスポーツイベント、スポーツチームの試合等で広報を行っていきます。

その活動の中では、三重とこわか国体への参加希望などを尋ねるアンケートの実施等を通じて、より多くの県民の皆さんに三重とこわか国体に参加していただけるよう取り組んでいきます。

(3) ホームページのリニューアル

ホームページをリニューアルし、県民運動の取組状況や、ダンスキャラバンの取組など、さまざまな情報を分かりやすく迅速に提供していきます。

また、県民の方が県の発信した情報を拡散できる YouTube や SNS 等も活用することで、三重とこわか国体の情報や県民運動の取組等が多くの方に伝わるようにしていきます。

県民運動の名称及び取組内容（案）

三重とこわか国体では、県民の皆さんが「する」「みる」「支える」といったさまざまな関わりを持つことで、県民力を結集した大会をめざしています。

このため、県民の皆さんによる主体的な取組を「とこわか運動」と称した県民運動として展開していきます。

1 県民運動の名称

(1) 名称（案） 「とこわか運動」

(2) 理由 三重とこわか国体の愛称である「とこわか」を用いることで、三重とこわか国体に関する県民運動であることが分かりやすく、親しみも生まれる

2 取組の内容

「とこわか」にちなんだ4つの柱を設定するとともに、取組例を示すことで、幅広い取組が得られるようにしていきます。

① と ときめく三重の力を結集

県民一人ひとりの参加により国体・大会を盛り上げ、みんながつながる喜びや充実感を味わい、わかちあえるよう、みんなの力を結集しましょう。

〈取組例〉・運営ボランティア、情報支援ボランティアなどボランティア活動への参加
 ・競技会場での応援
 ・募金や企業協賛への参加

② こ ころをこめた取組

県民一人ひとりが考え、それぞれの創意工夫で取り組むことにより、県民の皆さんや来訪者の記憶に残り、感動や絆が生まれるよう、ころをこめてさまざまな活動に取り組んでいきましょう。

〈取組例〉・イメージソングを歌う、演奏する、ダンスをする
 ・デモンストレーションスポーツに参加する
 ・国体や大会を冠したスポーツなどの大会を開催する

③ わ になろう！ 魅力を伝えるおもてなし

美しい自然、豊かな歴史・文化、おいしい食べ物など、三重県のたくさんの魅力で全国から訪れる方をもてなし、交流の輪を広げましょう。

〈取組例〉・特産品を活用したおみやげやとこまるグッズの開発、販売
 ・三重県ならではの食材等を活用したふるまい
 ・クリーンアップ活動や花で飾るなど、街をきれいにする

④ か がやく未来 元気な三重

両大会が終わった後も、さまざまな活動への取組によりできた仕組みやつながりが残り、人や地域がいつまでも若々しくかがやき続ける元気な三重にしていきたいと思います。

〈取組例〉・スポーツに積極的に取り組む
 ・開催した競技などのスポーツイベントを継続して実施する
 ・スポーツを通じた誘客等を行う

県民運動の推進について

県内全域で多くの取組が行われるよう、次のとおり県民運動を推進していきます。

1 推進体制

県（準備）実行委員会を中心に、市町や競技団体と連携し、学校や企業、NPO、スポーツチームなどあらゆる主体に幅広く取組を働きかけていきます。

2 取組の登録

とこわか運動の取組が多く行われるよう、取組の内容を登録していただき、ホームページや報道機関を通じて情報発信することで、運動を拡大していきます。

（１）活動を登録する期間

平成30年9月1日の「開催決定イベント」から三重とこわか大会終了まで

（２）登録者への特典と拡大の仕組み

- 登録した方に広報用ミニのぼり又はステッカーを渡します。
- ホームページ等に取組内容や写真を掲載するとともに、報道資料提供等により幅広く知っていただけるようにしていきます。

3 県民運動開始宣言

本年7月に三重とこわか国体の開催が正式に決定されることを受け、本年9月1日に開催する開催決定イベントで、4つのグループ（県民）の方から4つの柱の項目ごとに具体的な取組を発表し、その魅力を会場の方に呼びかけていただきます。そのうえで、「県民運動開始宣言」を行い、県民運動をスタートさせ、県民の皆さんの取組を促進していきます。

【4つの柱の宣言をしていただく方】

○ときめく三重の力を結集

国体広報ボランティアとして活動していただいている方

○こころをこめた取組

ダンスに取り組んでいただいているダンス部員

○わになろう！魅力を伝えるおもてなし

伊勢志摩サミットでもおもてなしの応援事業等に取り組んだ方

○かがやく未来 元気な三重

子どもからお年寄りまでさまざまな年齢層のスポーツに取り組んでいる方

4 節目イベントの活用等

開催決定イベントで開始宣言を行った後も、700日前、500日前など節目で実施するイベントにあわせて重点的な取組にスポットをあて、特徴的な取組を紹介することにより運動を拡大・発展させていきます。

5 今後のスケジュール

平成30年7月23日 ○実行委員会総会で審議・決定

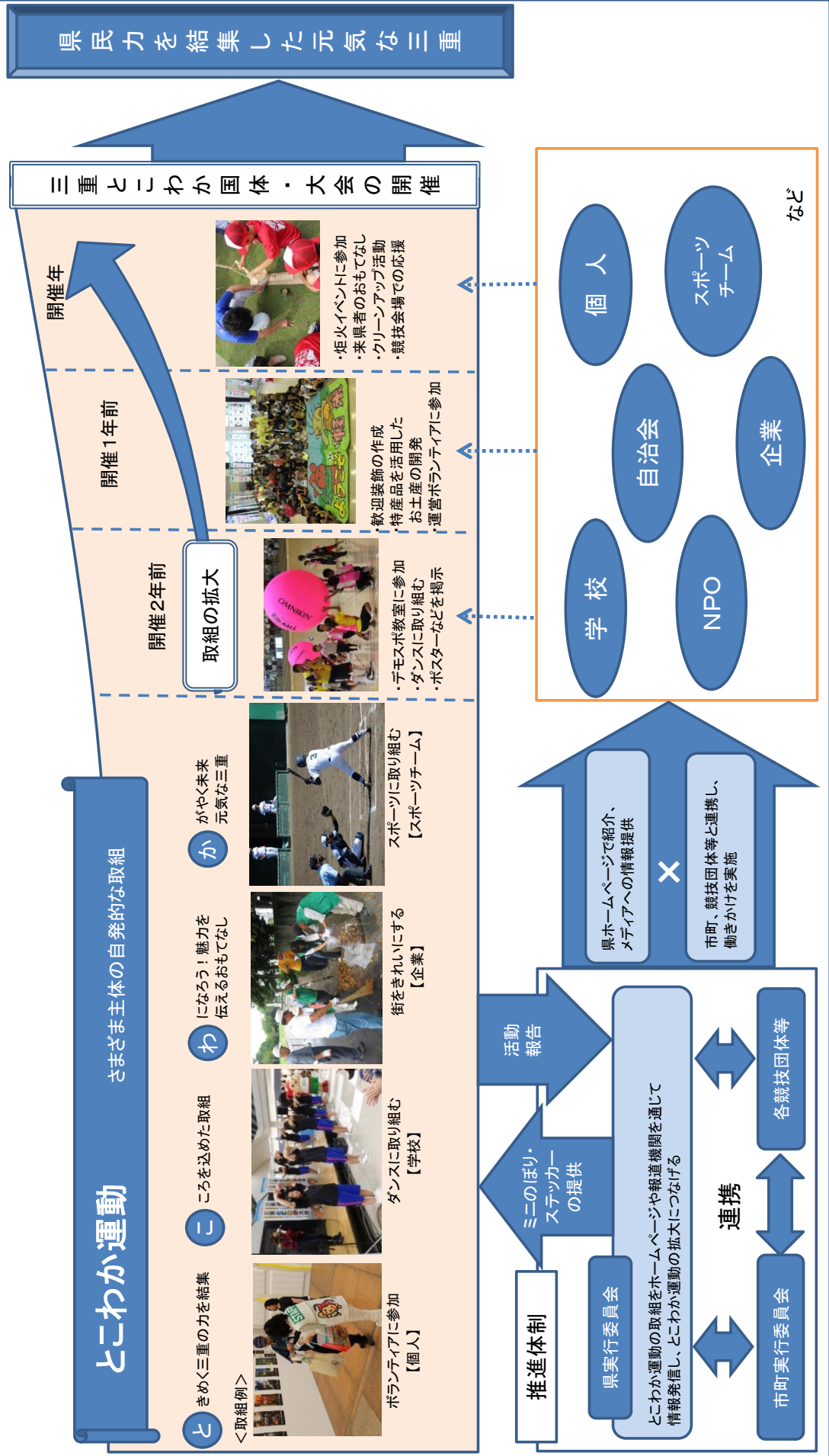
9月1日 ○開催決定イベントで、「とこわか運動」開始宣言

9月1日～ ○県内各地で実施する市町と連携したPR活動(年度内30回程度)
において県民等に対し取組を促進

○企業、学校、NPO、ボランティア団体等を中心に取組を依頼

県民運動「とこわか運動」の実施

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて県民力を結集するためには、県民の皆さんに「する」「みる」「支える」といった、さまざまな関わりを持っていただくことが必要



三重とこわか国体イメージソングのダンスの名称（案）

1 趣旨および目的

イメージソングのダンスは、三重とこわか国体が県民力を結集した大会となるよう、県民の皆さんの協力や参加を促進する仕組みの一つとして制作しました。

県民の皆さんがダンスに親しみを持つとともに、三重とこわか国体を身近に感じ、国体にさまざまな関わりを持っていただきたいことから、分かりやすい名称を付けたいと考えています。

2 名称（案）

「とこわかダンス」

3 理由

三重とこわか国体の愛称である「とこわか」を用いることで、三重とこわか国体のダンスであることが分かりやすく、親しみも生まれる

4 今後の取組

県民の皆さんがダンスを知り、身近に感じていただけるよう名称も含めてダンスの普及に努め、県民の皆さんのダンスの取組をはじめとした三重とこわか国体への参加を促進していきます。

5 参考

他県のダンスの名称等は次のとおりです。

国体の愛称	イメージソングのタイトル	マスコット キャラクター名	ダンスの名称
愛顔つなぐ えひめ国体	えがおは君のためにある	みきゃん	えがおダンス
福井しあわせ 元気国体	君が最高に輝くように	はぴりゅう	はびねすダンス
いきいき茨城 ゆめ国体	そして未来へ	いばラッキー	いきいきゆめダンス 2019

今後の国体開催準備スケジュール

平成 30 年度における国体開催準備（広報・県民運動専門委員会関係分）については、以下のとおり会議開催等を予定しています。

年 月 日		内 容
平成 30 年度 (3 年前)	7 月 18 日	※ (公財) 日本スポーツ協会 理事会 ○第 76 回国民体育大会開催地 (三重県) の決定について
	23 日	■準備委員会第 12 回常任委員会 ○開催準備総合計画の改正 (案) の審議、決定 ○各種方針の審議、決定 など ■準備委員会第 7 回総会 ○平成 29 年度事業報告 (案)、収支決算 (案) の審議、決定 ○三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会 (仮称) の設置及び会則改正 (案) の審議、決定 など ■実行委員会第 1 回総会 ○平成 30 年度事業計画 (案)、収支予算 (案) の審議、決定 ○募金・企業協賛の基本計画 (案) の審議、決定 ○県民運動の名称及び取組内容 (案) の審議、決定 など
	12 月 頃	※ (公財) 日本スポーツ協会 国体委員会 ○第 76 回国民体育大会競技別会期の決定について
	3 月 頃	■実行委員会第 1 回常任委員会 ○各種方針の審議、決定 など

注：開催時期や内容は、いずれも予定であり、準備の進捗により変動することがあります。

第76回国民体育大会三重県準備委員会

広報・県民運動専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
市町関係	三重県市長会 事務局長	村林 謹一
	三重県町村会 事務局長	奥村 仁孝
スポーツ関係	公益財団法人 三重県体育協会 理事長	東地 隆司
福祉・障がい スポーツ関係	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	松本 利治
有識者	株式会社宣伝会議 取締役編集室長 (三重県政策アドバイザー)	田中 里沙
	学校法人暁学園 四日市大学 環境情報学部 教授	木村 眞知子
宿泊・観光関係	公益社団法人 三重県観光連盟 事務局次長	川口 政樹
文化・社会 団体等関係	三重県ボランティア連絡協議会 副会長	赤尾 勉
マスコミ関係	日本放送協会津放送局 副局長	黒田 浩二
	三重テレビ放送 報道制作部 部長	平田 雅輝
	中日新聞三重総局 総局長	石川 保典
	伊勢新聞社 編集局長	綿貫 美希
	三重エフエム放送 放送部 放送課 課長	瀧 裕司
	三重県ケーブルテレビ協議会 事務局	朝倉 広幸
県（行政）関係	戦略企画部 広聴広報課長	井爪 宏明
	雇用経済部 三重県営業本部担当課長	野口 慎次
	雇用経済部 観光局 観光魅力創造課長	小見山 幸弘